



香港株式市場フラッシュ

熊本とんこつの味千ラーメン、火鍋チェーンのハイディアオ

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2022年8月24日号(8月24日作成)

”熊本ラーメンの味千(中国)控股は企業価値マイナス水準“

「熊本ラーメン」といえば、焦がしたり揚げたりしたニンニクのチップやマー油(ニンニクを揚げた油)と豚骨スープの組み合わせ、そして具材にキクラゲが入った特徴があり、日本でも全国的に根強い人気がある。味千(中国)控股[アジセン・チャイナ・ホールディングス](538/HK)は、熊本の重光産業から中国本土と香港での「味千ラーメン」の経営権を取得し、熊本ラーメンをチェーン展開。21年末の店舗数は中国本土713店、香港22店に上る。材料は上海、成都、天津、青島、武漢等の各工場で生産する。

同社の2021年12月決算は、売上が前年比9.6%増の19.96億円で、2年前比では22%減。当期利益は前年の▲78百万元から21百万元へ黒字転換も、2年前からは約86%減にとどまった。今月10日に22年上半期決算に係る会社予想を取引所に提出。純利益が前年同期の49.7百万元に対し、▲90百万元～1.30億元へ赤字転落となるほか、売上が同33.1%減の6.77億元となる見通しを発表した。中国政府のゼロコロナ政策が直撃した格好となった。

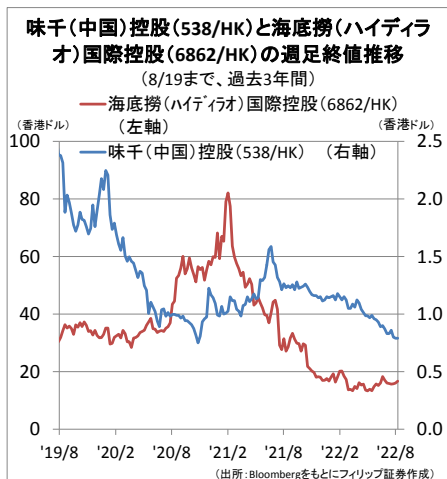
前期末の現金および現金同等物が15.27億元であるのに対し、22日終値では株式時価総額が7.71億元である。また、株式時価総額に純有利子負債額(有利子負債額から現金や非事業性資産を控除)を加えた「企業価値(EV)」は▲20百万元と、企業の実体を反映していない評価と言えるだろう。

“火鍋チェーンの海底撈国際控股は6月以降は業績回復へ“

最近では日本でも中国の鍋料理である「火鍋」が、辛いだけでなくコクがある「ウマ辛」出汁の効いた「中国版しゃぶしゃぶ」として人気化している。海底撈国際控股[ハイディアオ・インターナショナル](6862/HK)は「海底撈」ブランドで火鍋料理レストランをチェーン展開。海底撈の特徴として様々な接客サービスによる差別化が挙げられる。2021年12月末時点の店舗数は1443店に上り、その内、中国本土が1329店舗を占め、台湾、香港、マカオほか日本を含む海外が114店舗である。

同社の2021年12月決算は、売上が前年比43.7%増の411.11億元、当期利益が前年の3.09億元から▲41.63億元へ赤字転落。1-6月期に一時的に店舗を拡大したことで増収となったものの、新型コロナ禍の影響で集客力が悪化し21年末までに全店舗の2割にあたる約300店を閉鎖・営業停止。更に、不採算店舗の閉鎖に伴う資産売却損と減損処理、貸倒処理などで損失を計上した。

今月15日に同社が発表した22年1-6月期中間決算見通しでは、売上が前年同月比17%減、最終利益が前年同期の96百万元から▲2.97-▲2.25億元への赤字転落。これに対し、中国本土の事業は黒字を確保したとの見方があることに加え、会社側も中国本土や他の地域ともに6月以降、前月比で大幅に改善したとの認識を示していることから、7-12月期に向けての業績回復が期待されよう。



味千(中国)控股の期末および直近の株式時価総額、現金及び現金同等物、企業価値の推移(単位: 百万元)

	18年末	19年末	20年末	21年末	8/23
株式時価総額	2099	2703	1203	1121	771
現金および現金同等物	1356	1705	1738	1527	1527
企業価値	1037	1930	355	329	-20

海底撈(ハイディアオ)国際控股の期末店舗数推移(2018年～21年)

	18年末	19年末	20年末	21年末
店舗数合計	466	768	1298	1443
中国本土	430	716	1205	1329
海外	36	52	93	114

ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全89銘柄)における終値の2021年末末騰落率

前回基準日: 20220809 基準日: 20220823

順位	2021年末末騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	中国海洋石油 [CNOOC]	27.3	2
2	東方海外国際 [オリエン・オーバース]	26.4	1
3	中国移动 [チャイナモバイル]	17.7	8
4	長江実業集団 [CKアセット・ホールディングス]	12.9	7
5	中国中信 [シティック]	11.8	4
6	Budweiser Brewing Co APAC Lt	11.6	10
7	万洲国際 [WHグループ]	11.3	3
8	中国石油化工 [シノベック]	10.6	12
9	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	9.9	18
10	銀河娛樂 [ギャラクシー・エンターテインメント]	9.8	5

順位	2021年末末騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
87	Ming Yuan Cloud Group Holdin (明源雲)	-67.2	87
86	CG SERVICES (碧桂園服務)	-65.9	89
85	碧桂園控股 [カントリー・ガーデン・ホールディングス]	-61.6	88
84	SenseTime Group Inc (商湯集團)	-60.2	86
83	舜宇光学科技(集團) [サニーオプティカル・テクノロジー]	-55.9	85
82	小鹏汽車	-55.4	84
81	ピリピリ	-48.9	82
80	華虹半導體 [ファホン・セミコンダクター]	-45.0	80
79	申洲国際集團控股 [シェンジョウインターナショナルG]	-44.7	83
78	万国数視服務 [GDSホールディングス]	-42.9	79

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2022年8-9月の中国主要経済指標】

- 8月12日(金)
 - ・7月資金調達総額: 前回5兆1,700億元、結果7,561億元
 - ・7月新規人民元建て融資: 前回2兆8,100億元、結果6,790億元
 - ・7月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+11.4%、結果+12.0%
- 8月15日(月)
 - ・7月小売売上高<前年同月比>: 前回+3.1%、結果+2.7%
 - ・7月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+3.9%、結果+3.8%
 - ・1-7月固定資産投資<前年同月比>: 前回+6.1%、結果+5.7%
 - ・1-7月不動産投資<前年同月比>: 前回▲5.4%、結果▲6.4%
 - ・7月住宅販売金額<前年同月比>: 前回▲31.8%、結果▲31.4%
 - ・7月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.10%、結果▲0.11%
- 8月22日(月)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.70%、結果3.65%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.45%、結果4.30%
- 8月27日(土)
 - ・7月工業利益<前年同月比>: 前回+0.8%
- 8月31日(水)
 - ・8月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.0
 - ・8月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回53.8
- 9月1日(木)
 - ・8月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.4
- 9月5日(月)
 - ・8月(財新)サービス部門購買担当者景気指数(PMI): 前回55.5
- 9月7日(水)
 - ・8月外貨準備高: 前回3.104兆USD
 - ・8月貿易収支: 前回+1012.6億USD
 - ・8月輸出<前年同月比>: 前回+18.0%
 - ・8月輸入<前年同月比>: 前回+2.3%
- 9月9日(金)
 - ・8月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+2.7%
 - ・8月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回+4.2%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。